

デング熱に注意しましょう！

8月中に代々木公園（東京都）を利用した方、又は近隣を通った方から、デング熱に感染した患者が発生しました。9月11日時点で、100名を超えるデング熱患者発生があり、代々木公園近隣の公園や千葉県内など、周囲に拡散している事例も見られます。県内の蚊が原因でデング熱を発症した患者はいませんが、蚊に刺されて、急な発熱や頭痛等がでた時は、早めに医療機関を受診してください。

<デング熱とは？>

- デングウイルスが感染しておこる疾患で、アジア、中南米、アフリカ等の広範な地域で流行しています。
- デングウイルスは、ヒトー蚊ーヒトという経路で蚊が媒介して感染します。ヒトからヒトに直接感染することはありません。
- 感染しても、発症する頻度は10%から50%です。潜伏期は2～15日で、多くは3日から7日で発症します。

<症状は？>

- 38℃を超える突然の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹などが症状です。
- 通常は、1週間程度で治りますが、まれに重症化（デング出血熱）することがあります。

<治療法は？>

- 現在、デング熱に効く薬やワクチンはありません。対症療法となります。

<予防法は？>

- 蚊に刺されないことです！屋外の蚊の多いところで活動する場合は、長袖・長ズボンの着用、虫よけ剤等を使用し、蚊に刺されないように注意しましょう。

(患者発生に関すること)

川越市保健所 保健予防課 感染症担当 ☎049-227-5102

(家庭での蚊の発生に関すること)

川越市保健所 食品・環境衛生課 環境衛生担当 ☎049-227-5103

(公園での蚊の発生に関すること)

川越市役所都市計画部公園整備課 ☎049-224-5965